



パレスチナ・ジェリコ市が観光開発のために視察 ～ 出石が観光開発のモデルに～

パレスチナ・ジェリコ市が、観光開発プロジェクトのため、出石の視察に来訪される。

1. 視察目的

ジェリコ地域において官民協働による持続可能な観光システムを構築し、社会文化のおよび経済的な恩恵を受ける。

2. 視察日時

2月10日(木)～11日(金)

<スケジュール(予定)>

日 時	内 容	場 所
2月10日(木)		
16:10～17:40	出石のまちづくり関係者との意見交換会	豊岡市市役所出石総合支所 第4会議室
	宿泊	旅籠「西田屋」
2月11日(金)		
9:30～11:30	ガイドツアー体験	城下町
12:45～14:00	施設紹介	永楽館、家老屋敷、史料館
15:20～16:25	コウノトリ視察 中貝市長と面会	コウノトリの郷公園

変更になる場合があります。

3. 「出石」を視察される理由

(1) 出石は、

住民主導で観光振興をスタートさせている地である。

行政と住民が一体となった振興体制ができています。

商業関係者だけでなく多くの住民が参加して観光協会をつくり、後に事業部門を独立させ広く住民からも出資を募ってまちづくり公社にまで発展させた。さらには旅行事業部門まで開設している。

シルバー層も活用した住民によるガイドシステムを開発している。

(2) ジェリコの観光開発プロジェクトの理念は「官民連携による住民に直接利益をもたらす持続可能な観光開発」

出石のまちづくりを勉強し、特に住民に直接利益をもたらすという点から、特産品の活用、住民によるガイド、ツアー開発について学びたい意向である。



4. 来訪者（予定）

観光遺跡省 ジェリコ事務所長
観光遺跡省 モザイク部門 職員
ジェリコ副市長
ジェリコ市広報部長
スポーツ・青年省 ジェリコ所長
パレスチナ民間観光業者
JICA（独立行政法人国際協力機構）専門家 など10名

5. 日本での研修概要

滞在期間：2月6日～2月15日
視察場所：本市以外には川越市、京都市、枚方市などを視察

《参考》視察の背景

パレスチナはベツレヘム、ジェリコ、東エルサレムなどの豊富な観光資源を有しており、2000年9月に勃発した第2次インティファダ以前には観光業がGDPの11%を占めてきた。

なかでもジェリコ市の歴史は約1万年前にも遡るといわれる世界最古の都市であり、市内中心部にあるテル・エス・スルタン、北部のヒシャム宮殿や西部丘陵地域の誘惑の山を始めとして、ジェリコ市及びヨルダン渓谷には500箇所以上の豊富な文化遺跡が存在している。

ジェリコへの観光客は1998年から2000年までの間は年間約23万人から25万人程度で推移し、ホテルなどのインフラの整備も進んだが、第2次インティファダの結果、観光客は2001年には1,200人、2004年には3万人程度にまで激減し、観光収入の減少をもたらした。

治安情勢の改善が見られた2005年には10万人程度まで回復し、今後も観光産業はジェリコにおいて農業と並ぶ重要産業であり続けることが予想される。

ジェリコの観光振興における課題は治安の他、文化遺産のプレゼンの貧弱さ、土産物・観光産品の開発不足、観光情報の発信力不足などが挙げられ、これらの改善することで更なる観光産業の振興を図ることが期待されている。

〔問合せ〕豊岡市政策調整部秘書広報課 0796 - 23 - 1114